

令和4年10月

和歌山県の財政状況

市場公募債 I R 資料



Wakayama Prefecture

- 1. 和歌山県の概要**
- 2. これからの和歌山県**
- 3. 和歌山県の財政状況**
- 4. 市場公募債発行計画**

和歌山県の概要

1

和歌山県の概要



面積

4,725km²

人口 ※R2.10.1現在(令和2年国勢調査)

923千人

県内総生産(名目) ※令和元年度県民経済計算

37,446億円

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

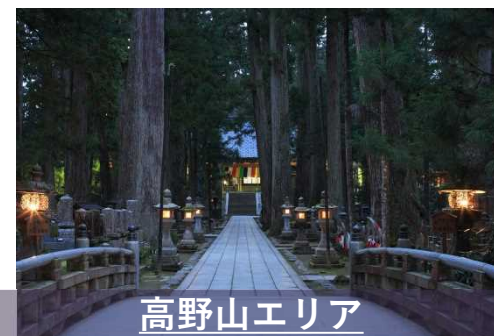
和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

- 和歌山県は、恵まれた風土を活かした観光資源が豊富です。
- 自然、文化、食など、それぞれのエリアの特性に応じた魅力があります。



和歌山市近郊エリア

大阪に近い和歌山市は、江戸時代の史跡や日本らしい名勝地を楽しめます。海の幸や和歌山グルメも人気です。



高野山エリア

真言宗の総本山「高野山」エリアは、豊かな自然と荘厳な寺院が共存する厳かな雰囲気が漂います。



有田・日高エリア

県央に位置して、海と山の恵みを受ける風光明媚な土地です。特産品のみかんやクエなどの食も満喫できます。



熊野エリア

大自然のパワーあふれる「世界遺産」と「熊野三山」を含み、歴史ある温泉も名物のひとつです。



白浜・串本エリア

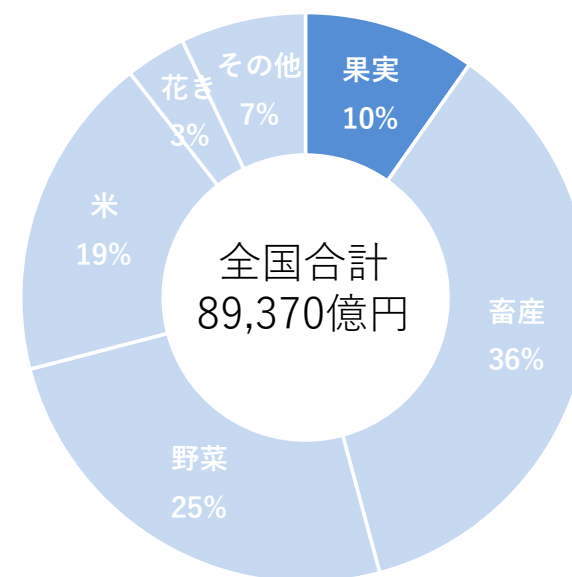
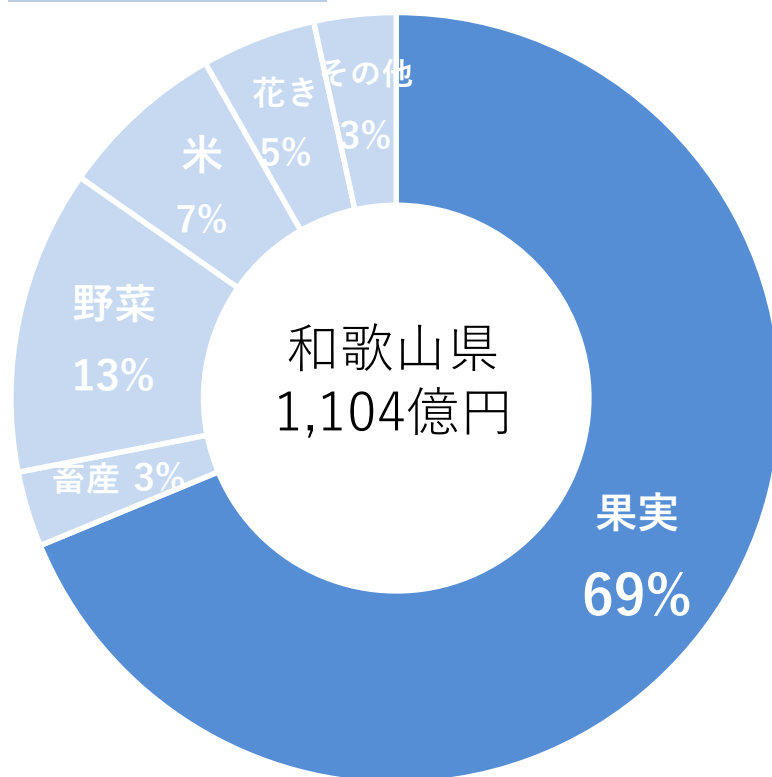
関西を代表するマリリゾートです。レジャーのほかに、太平洋の偉大さを感じる絶景スポットも楽しめます。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

- 本県では、恵まれた自然条件を活かした農林水産業が盛んです。
- 農業においては、果実の構成比が農業産出額の69%を占めており、全国に比べて特異な構成となっています。
- このため、和歌山県は「果樹王国」とも言われています。

農業産出額



果樹収穫量の全国シェア 以下は全て**全国第1位**

みかん

19.7% (147,800 t)

※令和3年産作物統計

はっさく

70.1% (18,578 t)

※令和元年産特産果樹生産動態等調査

うめ

64.5% (67,500 t)

※令和3年産作物統計

さんしょう

64.4% (419 t)

※令和元年産特産果樹生産動態等調査

かき

21.1% (39,700 t)

※令和3年産作物統計

いちじく

18.3% (2,114 t)

※令和元年産特産果樹生産動態等調査

大齋原の桜と天の川（おおゆのはらのさくらとあまのがわ）

熊野本宮大社の旧社地・大齋原（おおゆのはら）。春には、日本一の大鳥居を桜が彩ります。その上を流れるのは天の川。1年のうち、わずか数日の共演です。



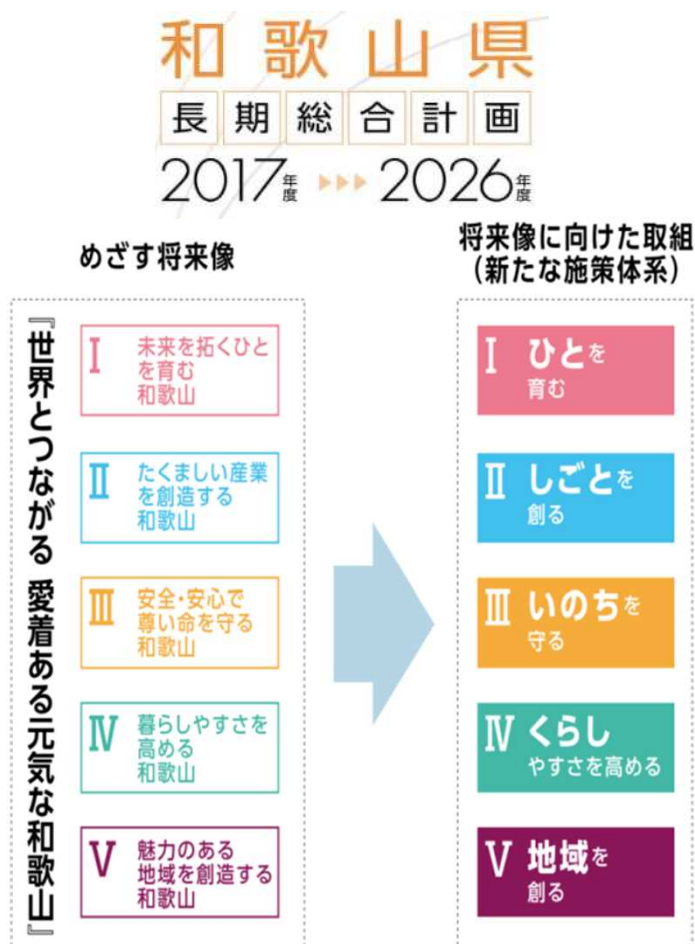
写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

これからの和歌山県

2

和歌山県の将来像

- 本県は、2017年に、10年後の未来を展望しためざす将来像と、その実現に向けて取り組む基本的な方向を定めた「和歌山県長期総合計画」を策定しました。
- 本計画がめざす将来像として、ひと、しごと、いのち、くらし、地域の5つの施策体系で将来像に向けた取組を進めています。



未来を拓くひとを育む和歌山

子育て施策をより一層充実することで、県民みんなが子どもを産み育てやすいと感じ、子どもたちが将来の夢や目標の実現に必要な資質・能力を身につけるとともに、県民みんながそれぞれのライフスタイルに応じて楽しく元気に活躍し、故郷への愛着と誇りをもち続けている和歌山をめざします。



たくましい産業を創造する和歌山

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに適応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだす和歌山をめざします。



安全・安心で、尊い命を守る和歌山

地震・津波・風水害などの災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられ、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざします。



暮らしやすさを高める和歌山

良好な生活環境を保ち、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や省エネルギー、再生可能エネルギー利用を進めるとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子どもたちが育った環境に左右されことなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざします。



魅力のある地域を創造する和歌山

人口減少等が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進します。また、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地域づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げるなど、魅力的な地域を創造する和歌山をめざします。

将来像に向けた令和4年度の取組

- 長期化するコロナ禍から暮らしと経済を守るとともに、子育て環境の充実や成長を支えるインフラ整備など、本県の飛躍を支える基盤づくりを着実に進める。
- さらに、コロナ禍を契機とした世界の変容をチャンスと捉えて新たな取組に挑戦することで、ポストコロナ時代に挑み、和歌山を力強く飛躍させる。

新しい世界で飛躍する和歌山

1. 変化する世界への挑戦

「DX和歌山」の推進、わかやま移住定住総合戦略、企業誘致戦略の推進

2. ポストコロナ時代に挑戦する産業支援

県内事業者の競争力強化、起業家によるスタートアップ支援、農林水産業の振興、観光産業の再生・発展
民間ロケット発射場周辺地域活性化

飛躍を支える基盤づくり

1. コロナから暮らしと経済を守る

コロナ禍における保健医療行政の強化、地域医療提供体制の堅持、
中小企業等におけるコロナ危機からの脱却、コロナ不況下における雇用対策

2. 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

子育て相談体制の強化・待機児童解消対策・子育て世代の経済負担軽減、児童相談所体制強化、
「和歌山県安全安心なインフラ構築宣言」の推進、防災・減災、国土強靱化対策の推進

3. 飛躍を支える人と地域を創る

宇宙教育の推進、スタンフォード大学遠隔講座、和歌山博物館施設デジタル化計画、魅力的な景観まちづくりの推進、
経済活動の基盤となる道路ネットワークの整備

取組事例のご紹介①～自然災害への備え～

■地震による津波に備え、河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の整備を推進するとともに、被災後のまちづくりを想定した復興計画の事前策定に取り組む沿岸市町を支援します。

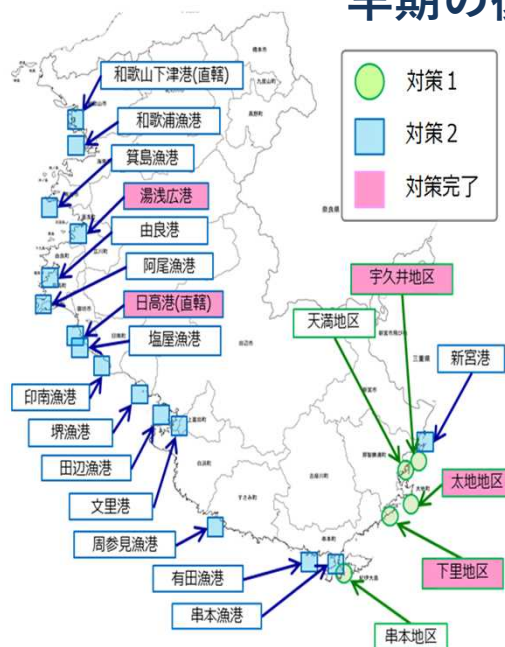
津波から“逃げ切る”ための堤防等の整備

対策1 津波避難困難地域を解消し、

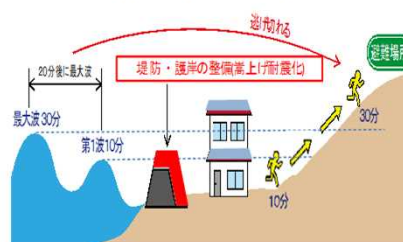
犠牲者ゼロを目指す。

対策2 地域経済の拠点となる施設を強化して、

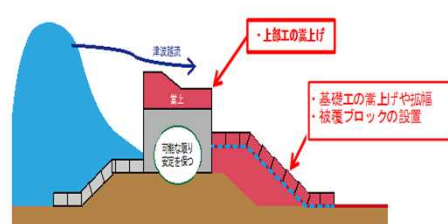
早期の復旧復興につなげる。



＜対策1：第1波対策の整備イメージ＞



＜対策2：既存施設の強化整備イメージ＞



津波災害復興計画の事前策定

被災したまちや

地域の復旧・復興が遅れると

- ・ 県民が再建する気力を喪失、企業活動の停止
- ・ 県内外への移転などにより地域経済が停滞、地域活力が喪失
- 被災を想定した復興計画・体制等の準備に着手することが必要

- 復興計画事前策定の手引きの策定
- 復興計画事前策定支援本部の設置

津波被害を受ける沿岸市町の計画策定を支援

(策定済みの美浜町を除く18市町)

取組事例のご紹介②～企業誘致等の最近の動向～

- 令和4年2月には、パナソニックエナジー(株)がグローバルでの事業拡大に向け、新型車載用リチウムイオン電池「4680」の生産設備を和歌山工場に設置することを発表しました。
- 和歌山県では、急進するリチウムイオン電池などの電池産業の集積に向けた企業誘致や地場産業の電池産業への事業転換などを支援していきます。

パナソニックエナジー(株)和歌山工場について

投資内容

- 既存の和歌山工場の**建屋改修**
- 原動設備ならびに**生産設備2ラインを設置**
- 2023年中**に生産性の検証及び**量産を開始予定**

※世界各国がカーボンニュートラルの取組を推進する中で、EV市場は今後大きな成長が期待される分野であり、その中心となる蓄電池の世界市場は、今後10年間で数倍にもなるとわれています。

和歌山県内の最近の動向について

- 新 大 学 開 校
- 新 た な 工 業 用 地
- 世界的建築家との連携
- I C T 企 業 の 集 積
- ワーケーションの推進
- 日本初の民間ロケット発射場

和歌山県立医科大学薬学部、和歌山リハビリテーション専門職大学（2021年4月）

橋本市あやの台北部用地 分譲面積192,340㎡（2024年分譲開始予定）

隈研吾建築都市設計事務所と地方創生にむけた連携協定を締結（2022年2月）

紀南地域を中心にICT企業誘致を推進しており、多くの企業がサテライトオフィスを開設

日本におけるワーケーション発祥の地であり、2021年度までの5年間で150社以上が体験

2022年、「スペースポート紀伊」からロケット初号機が打ち上げられる予定



取組事例のご紹介③～宇宙ビジネス～

- 日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が串本町に完成し、ロケット初号機「カイロス」が打上げられる予定です。ロケット打上げにより、大きな経済波及効果が見込まれます。
- 中長期的に期待されている宇宙産業集積に向けた気運醸成や人材育成に向けた取組も行います。

『日本初』 民間ロケット発射場の誘致

事業内容：超小型衛星の「宇宙宅配便」事業

事業者：スペースワン(株)※

事業地：和歌山県串本町

※株主：キャノン電子(株)、(株)IHIエアロスペース、清水建設(株)、(株)日本政策投資銀行、(株)紀陽銀行、関西電力(株)、太陽工業(株)



ロケット打ち上げのイメージ図

(写真提供：スペースワン(株))

今後の予定



経済波及効果は、**10年間で670億円**

(建設投資効果：28億円、射場運営効果：51億円／年、観光消費効果：13億円／年)

取組事例のご紹介④ ～道路ネットワークの整備～

■企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進しています。

1 地域をつなぐ道路網の整備

①万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

- ▶すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶印南IC～南紀田辺IC間の4車線化
- ▶国道42号冷水拡幅、有田海南道路 など

②県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

- ▶国道168号五條新宮道路（相賀高田工区、相須工区）
- ▶国道424号（切目辻工区）
- ▶すさみ古座線（周参見～添野川） など

③都市内道路及び基本的な生活に不可欠な道路の整備推進

- ▶紀伊停車場田井ノ瀬線（南田井ノ瀬橋）、松島本渡線 など

④高規格道路の早期事業化

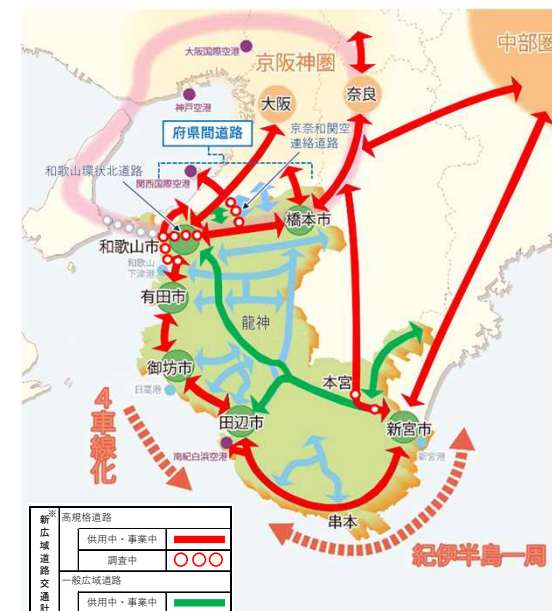
- ▶和歌山環状北道路、京奈和関空連絡道路



新宮北IC
新宮紀宝道路（仮称熊野川河口大橋）



至 国道42号
すさみ古座線（仮称小河内1号トンネル）



新規格道路	供用中・事業中	〇〇〇
一般広域道路	調査中	〇〇〇
構想路線	供用中・事業中	〇〇〇
その他	構想路線	〇〇〇
幹線道路網・府県間道路		

※近畿7県新規格道路交通計画（R3.7策定）

2 災害に備えた道路網の強靱化

①緊急輸送道路等の通行確保

- ▶地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

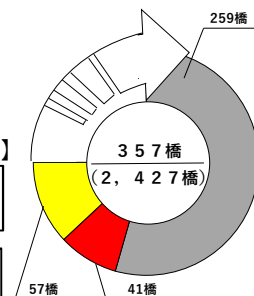
②橋梁等の老朽化対策

- ▶定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策

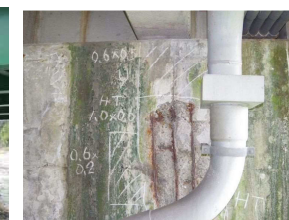
【橋梁の老朽化対策】

上段：要修繕数
下段：県管理総数

■ ～R3完了
■ R4修繕予定
■ R5～R8想定



橋梁耐震化
落橋防止の設置



老朽化対策
コンクリートの剥離（橋脚）の補修

霧にかすむ那智大滝（きりにかすむなちおおたき）

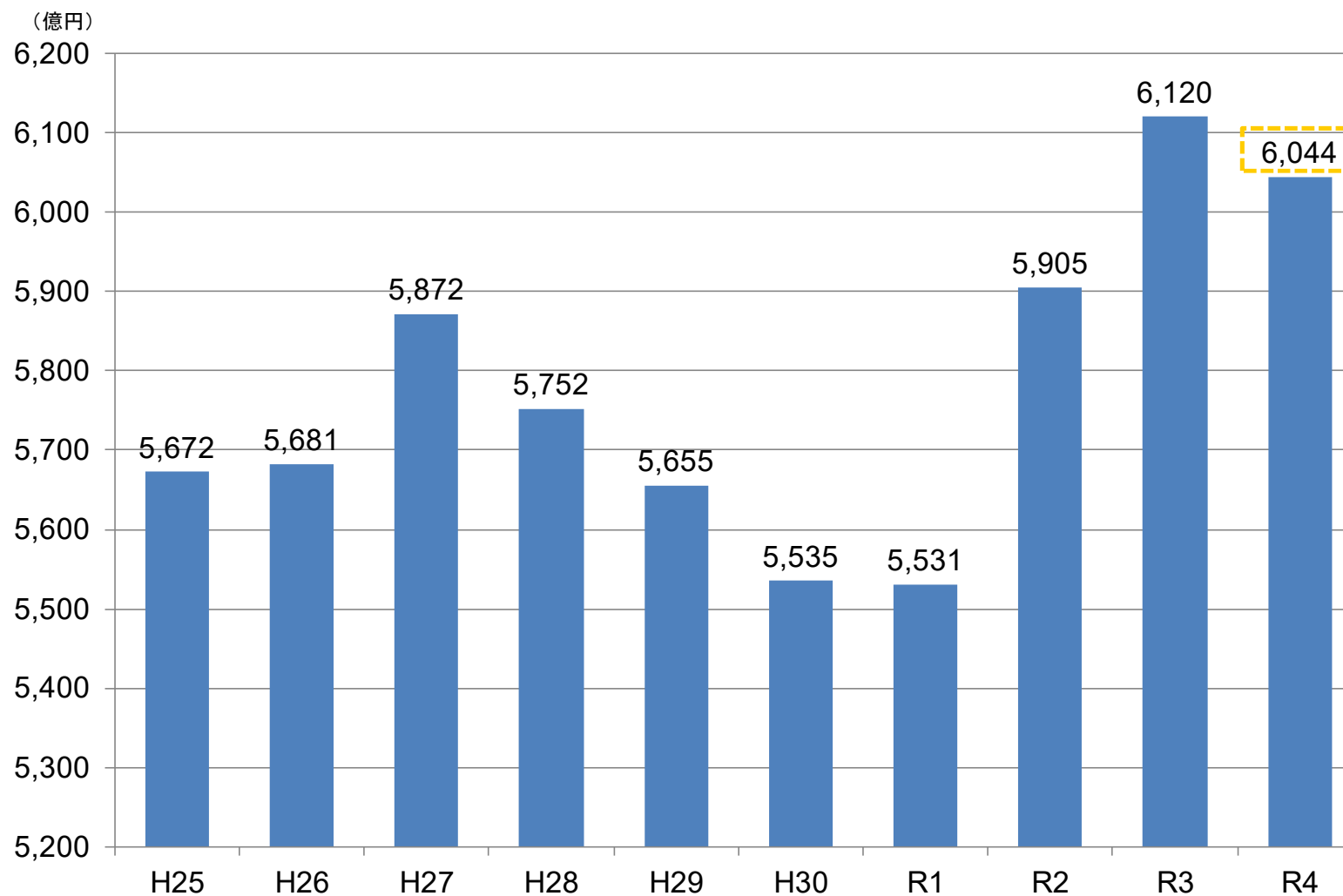
落差日本一の那智大滝と三重塔の遠望は那智山で一番の絶景。季節や時間、気象によってさまざまな表情を見せます。とりわけ霧が立ち込めた日は熊野らしい神秘的な光景に触れることができます。

和歌山県の財政状況

3

令和 4 年度当初予算の概要

- 令和 4 年度の一般会計予算の規模は、6,044億円（対前年度▲76億円、▲1.2%）
- 過去10年で 2 番目の規模となりました。



令和4年度当初予算（歳入）の概要

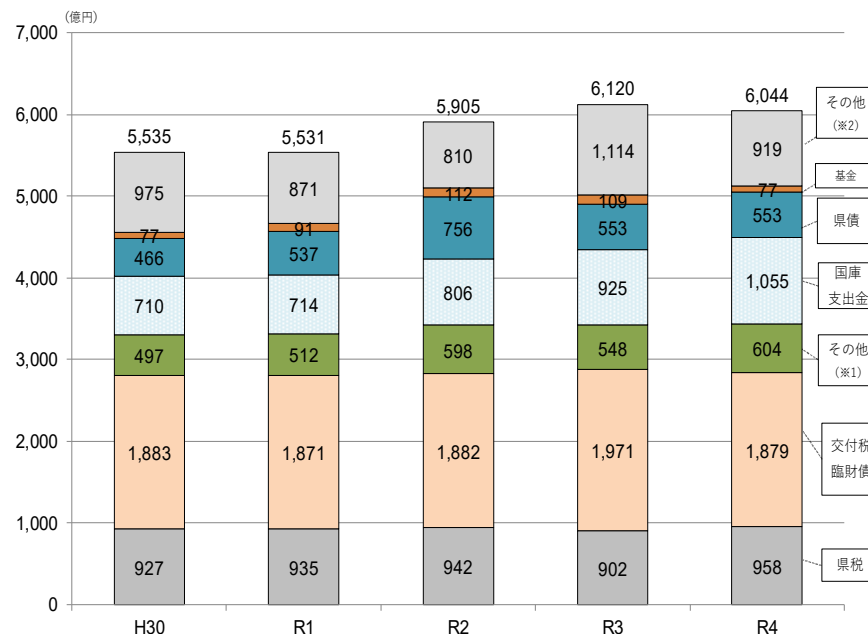
■新型コロナウイルス感染症の影響前の水準に県税収入が回復する見込みである一方、実質的な地方交付税（地方交付税・臨時財政対策債）は減少する見込みです。

		R3当初	R4当初	増減額	増減率
一般財源	県税	902億円	958億円	+56億円	+6.2%
	地方交付税	1,701億円	1,789億円	+88億円	+5.2%
	臨時財政対策債	270億円	90億円	▲180億円	▲66.7%
	その他（※1）	548億円	604億円	+57億円	+10.3%
	小計	3,420億円	3,441億円	+21億円	+0.6%
国庫支出金		925億円	1,055億円	+131億円	+14.1%
県債（臨財債除き）		553億円	553億円	0億円	0.0%
基金繰入金		109億円	77億円	▲32億円	▲29.5%
その他（※2）		1,114億円	919億円	▲196億円	▲17.6%
歳入合計		6,120億円	6,044億円	▲76億円	▲1.2%

※1：地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金

※2：交通安全対策交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など

項目別歳入の推移（当初予算ベース）



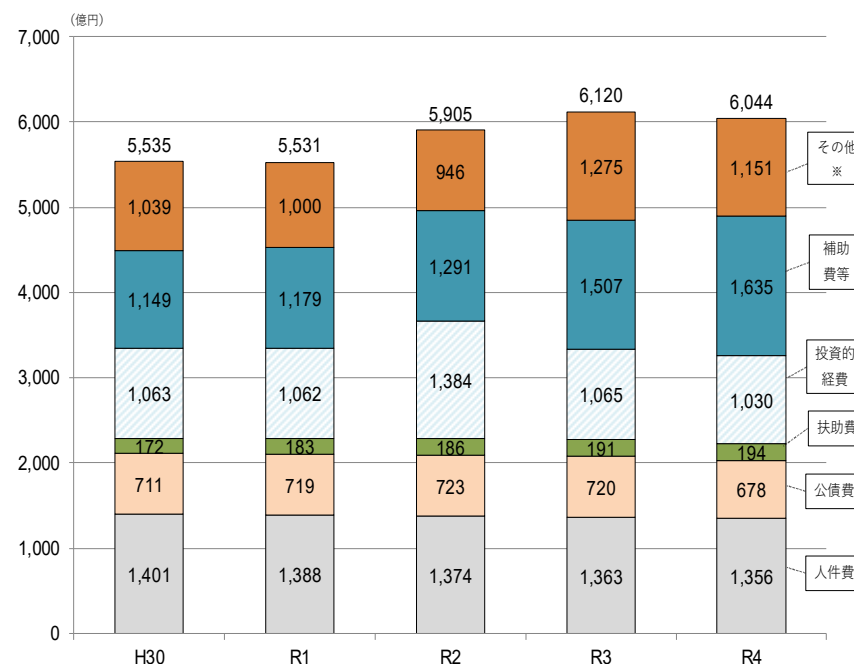
令和4年度当初予算（歳出）の概要

■新型コロナウイルス感染症対策予算として、539億円を計上したほか、新政策予算や社会保障関係経費を確保しました。

		R3当初	R4当初	増減額	増減率
義務的経費	人件費	1,363億円	1,356億円	▲7億円	▲0.5%
	公債費	720億円	678億円	▲42億円	▲5.9%
	扶助費	191億円	194億円	+4億円	+1.9%
	小計	2,274億円	2,228億円	▲46億円	▲2.0%
投資的経費		1,065億円	1,030億円	▲35億円	▲3.3%
補助費等		1,507億円	1,635億円	+128億円	+8.5%
その他（※）		1,275億円	1,151億円	▲124億円	▲9.7%
歳出合計		6,120億円	6,044億円	▲76億円	▲1.2%

※維持補修費、積立金、貸付金、繰出金など

性質別歳出の推移（当初予算ベース）



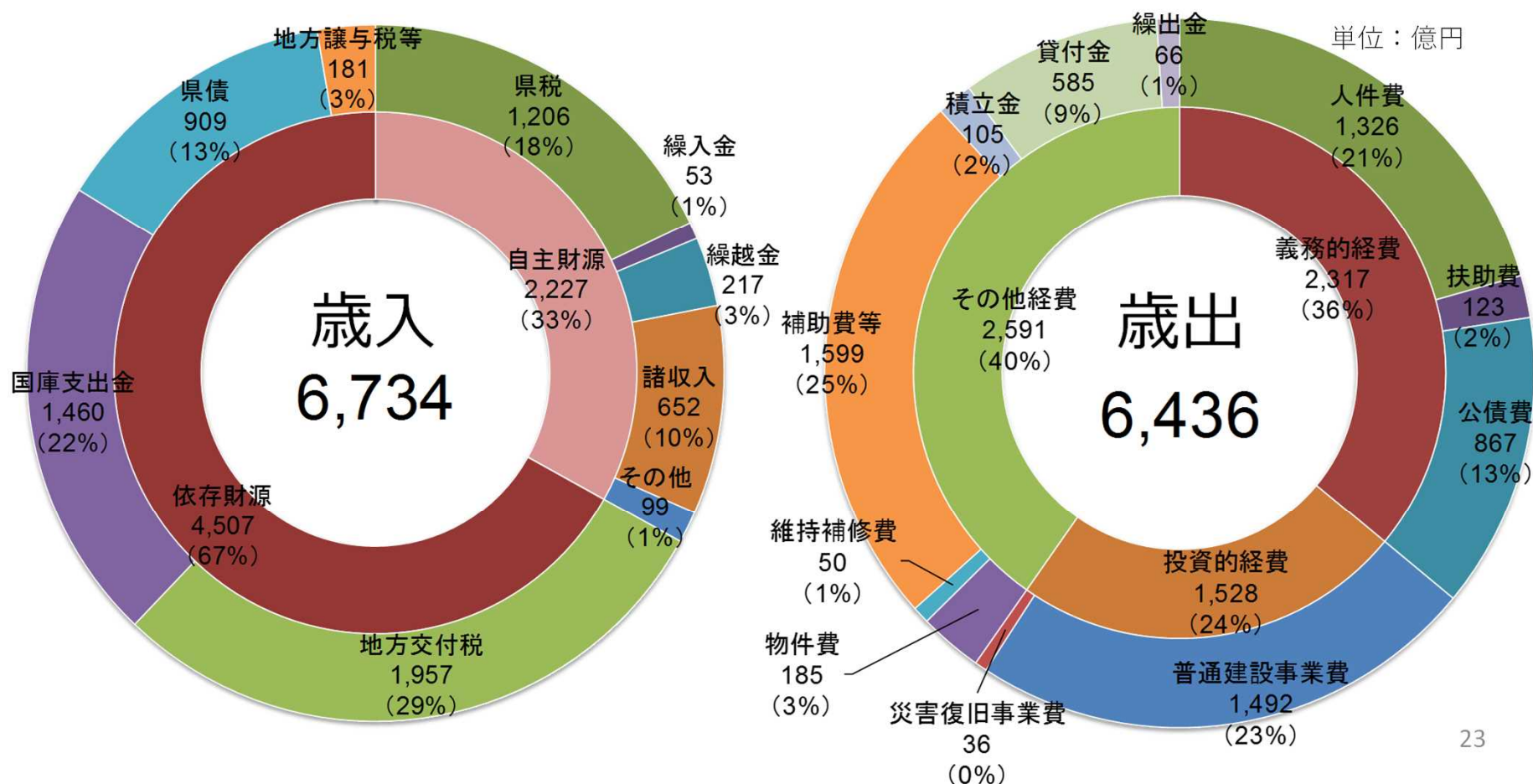
令和3年度普通会計決算の概要

- 決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて増加しました。
- 実質収支・実質単年度収支はともに黒字となりました。

項目	令和2年度決算	令和3年度決算	増減
収 支 (百万円)			
歳入総額	648,362	673,365	+25,003
歳出総額	626,676	643,554	+16,878
歳入歳出差引	21,686	29,810	+8,124
翌年度への繰越財源	7,831	18,420	+10,589
実質収支	13,855	11,390	▲ 2,465
実質単年度収支	10,185	10,753	+568
残 高 (百万円)			
県債残高【一般会計】	1,048,817	1,058,661	+9,844
うち、臨時財政対策債	367,074	362,751	▲ 4,323
うち、臨時財政対策債除き	681,743	695,910	+14,167
基金残高	67,145	72,488	+5,343
うち、財政調整・減債基金	20,895	20,895	+0
指 標			
標準財政規模(百万円)	298,707	313,900	+15,193
財政力指数	0.338	0.323	▲ 0.015
経常収支比率 (%)	95.2	86.9	▲ 8.3
健全化判断比率 (%)			
実質赤字比率	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—
実質公債費比率	7.6	7.7	+0.1
将来負担比率	204.5	194.6	▲ 9.9

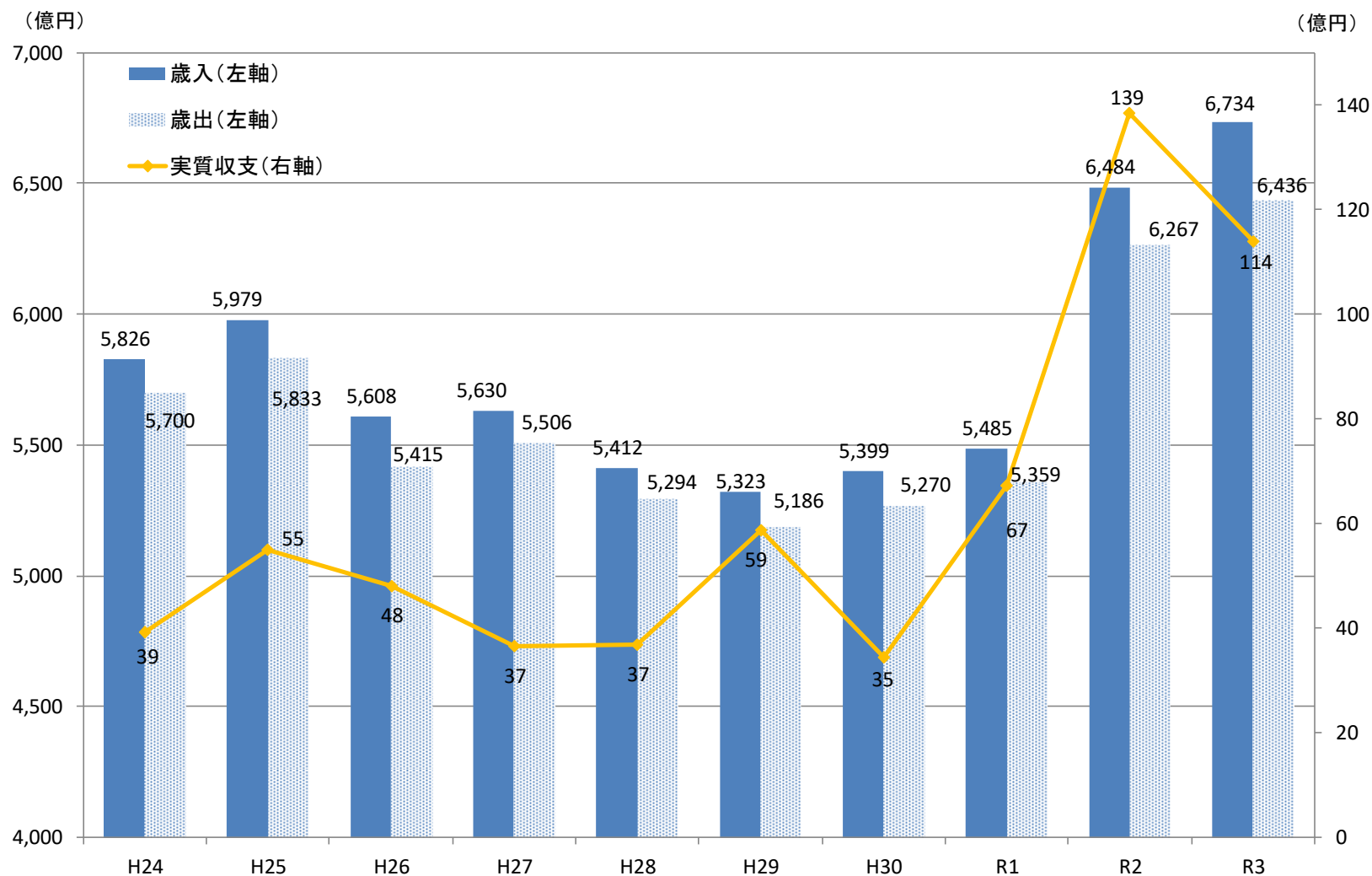
令和 3 年度普通会計決算の概要

- 決算規模は、歳入6,734億円（対前年度+250億円）、歳出6,436億円（対前年度+169億円）
- 歳入は、国庫支出金や県債の増加等により、前年度と比べて250億円増加しました。
- また、歳出についても防災・減災、国土強靱化の推進に伴う投資的経費や和歌山県土地開発公社債務保証対策基金への積立金の増加等により、前年度と比べて169億円増加しました。



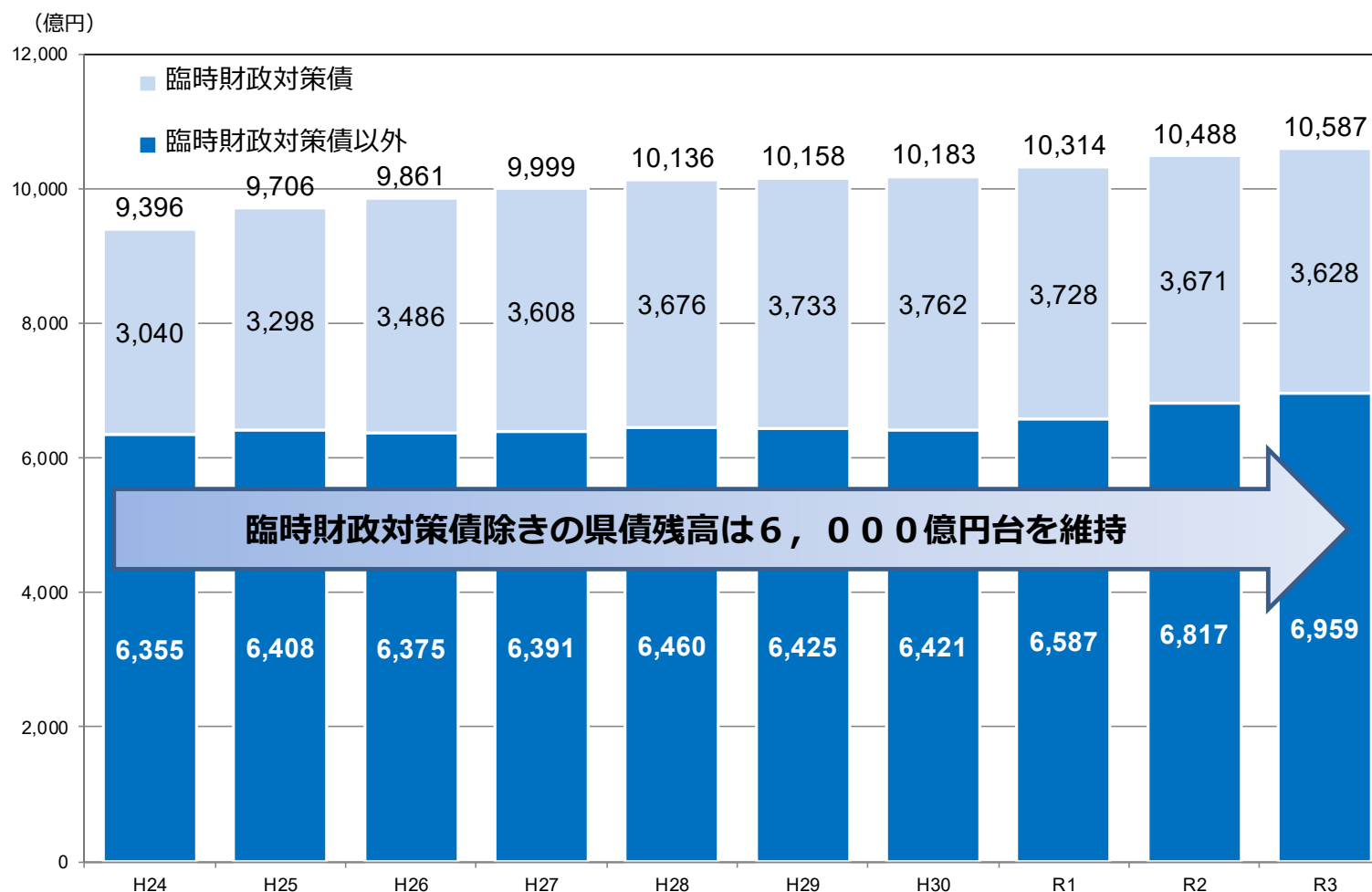
普通会計決算の推移

■令和3年度の実質収支は114億円、実質単年度収支は108億円の黒字となりました。



県債残高の推移（一般会計）

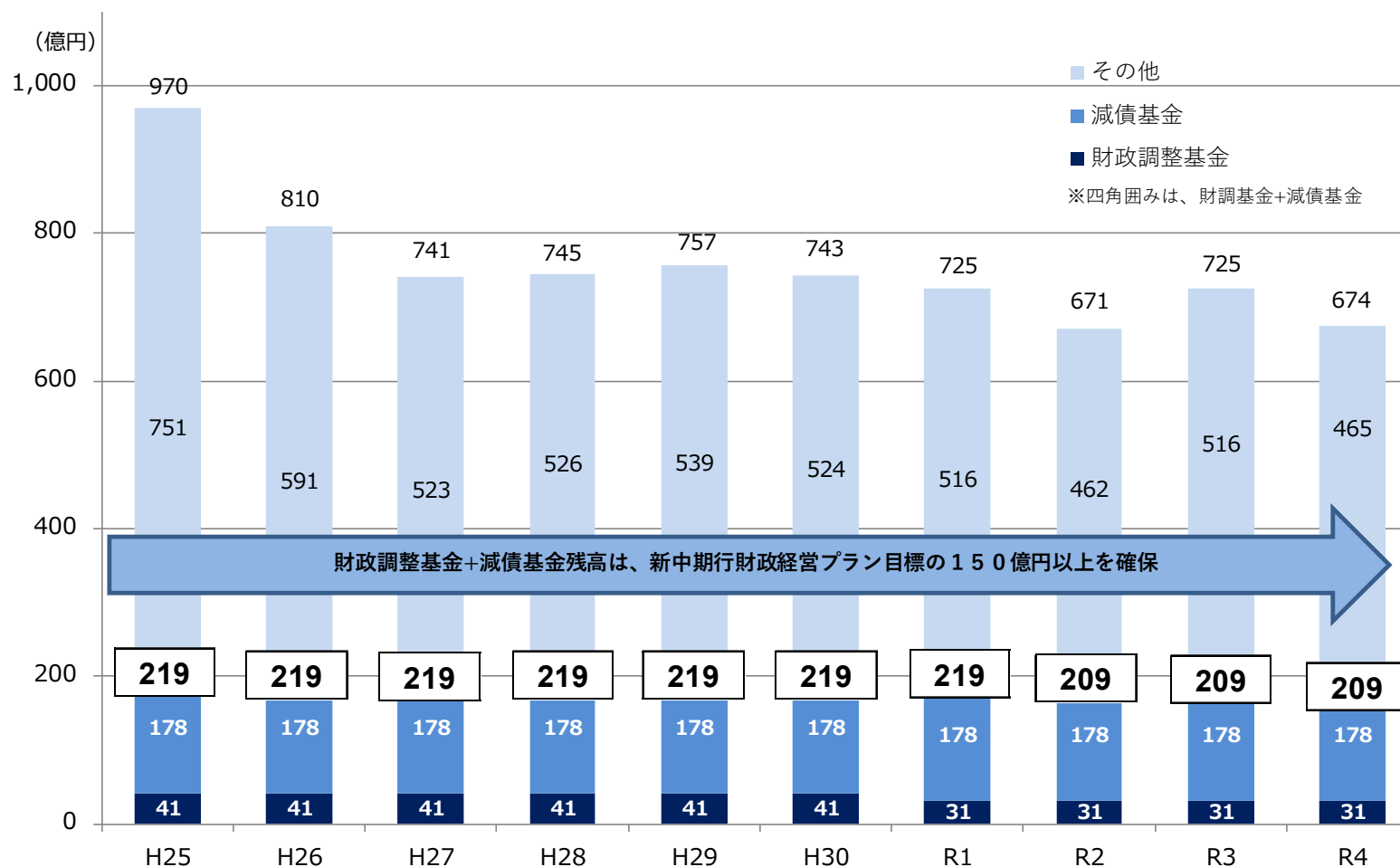
- 一般会計の臨時財政対策債除きの県債残高は、6,000億円台を維持しています。
- 令和3年度末残高（臨時債除き）は、6,959億円（対前年度+142億円）。防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進等に伴う公共事業の増加等に伴い増加しました。



基金残高の推移

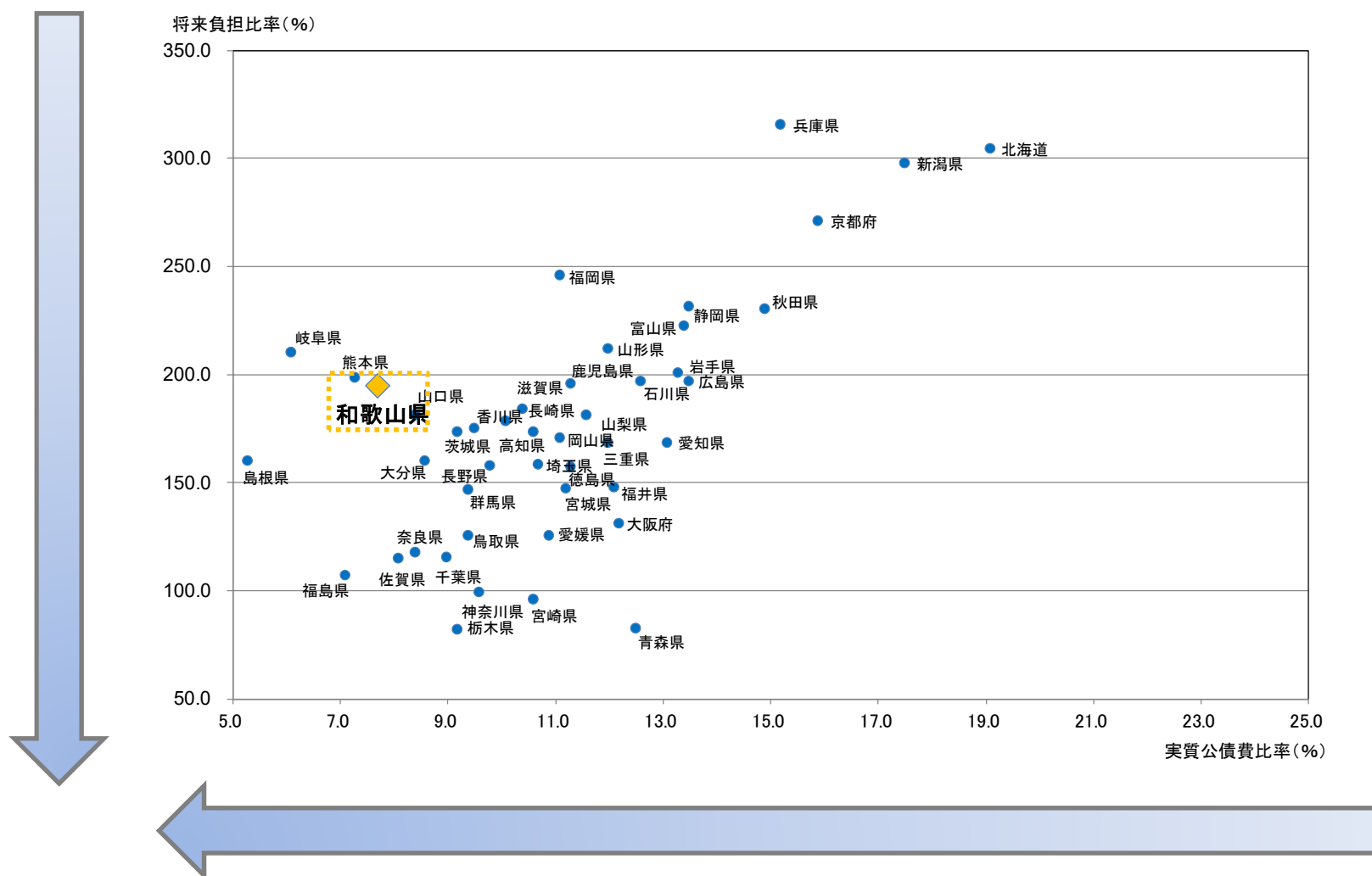
■財政調整基金と減債基金の残高合計は、令和3年度決算において209億円、令和4年度当初予算額においても、209億円となっています。

■新中期行財政経営プラン（R4～R8）における残高目標150億円を上回る額を確保する見込みです。



令和 3 年度健全化判断比率の状況

- 令和 3 年度 実質公債費比率7.7%（全国7位） 将来負担比率：194.6%（全国32位）
- 全国的にも健全な財政状況を維持しています。



令和3年度公営企業会計（法適用）の決算概要

■健全化法上の資金不足比率について、資金不足は発生していません。

(百万円)

会計	概要	収益的収支			資本的収支			資金不足比率 (健全化法上)
		事業収益	事業費用	収支差引	資本収入	資本費用	収支差引(※)	
病院	こころの医療センター（昭和27年開設）の運営 ・所在地：有田川町 ・設置根拠：精神保健福祉法第19条の7 ・病床数：300床	2,300	2,050	250	456	456	0	－
工業用水道	紀の川及び有田川を水源として利用し、和歌山市、海南市、有田市の34事業者への工業用水を供給	752	586	167	10	41	▲ 31	－
土地造成	企業誘致推進のため、和歌山市（雑賀崎工業団地、西浜工業団地）、御坊市（日高港工業団地、御坊工業団地）にある企業用地の分譲を推進	323	82	241	860	1,067	▲ 207	－
流域下水道	紀の川流域の自然環境の保全や生活環境の改善を目的とし、紀の川流域下水道（伊都処理区）及び紀の川中流流域下水道（那賀処理区）において流域下水道事業を実施	2,685	2,670	16	1,221	1,221	▲ 0	－

※収益的収支、資本的収支の不足額は、内部留保資金等で補てんしています。

資金不足は発生
していない。

令和4年度補正予算の状況（9月補正時点）

- 令和4年度補正予算では、9月補正予算までに173億円の増額補正を行い、うち新型コロナウイルス感染症対応として、48億円を増額補正しています。
- これらの財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の国庫支出金を活用しており、財政調整基金の取崩しは0.1億円に留まっています。
- 財政調整基金＋減債基金の残高合計は、令和4年度末で209億円を確保できる見込みです。

（億円）

令和4年補正予算	6月補正	9月補正	合計
補正額（歳出）	36	137	173
うち新型コロナウイルス感染症対応	35	13	48
補正額（歳入）	36	137	173
国庫支出金 （コロナ臨時交付金含む）	36	74	110
地方交付税	-	10	10
その他	0	53	53
財政調整基金取崩し	0	-	0

市場公募債発行計画

4

市場公募債の発行計画

- 令和4年度は、100億円の市場公募債を発行する予定です。
- 来年度以降も、年1回の発行を視野に継続的に発行していく予定です。

発行額

100億円

年 限

10年（満期一括償還）

条件決定日

令和4年11月9日（水）

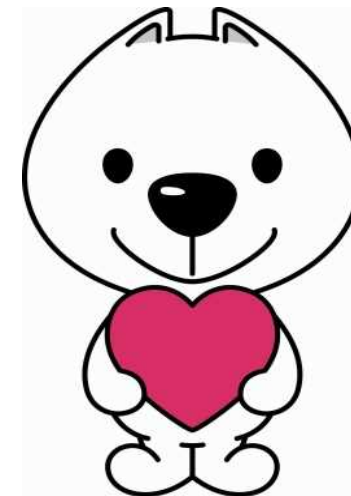
発行日

令和4年11月30日（水）

問い合わせ先

和歌山県 総務部 総務管理局 財政課 企画調整班
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電 話 : 073-441-2161
F A X : 073-422-8384
E-mail : e0104001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

財政・県債に関する情報

和歌山県ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010400/index.html>

【MEMO】

